



●発行 2018.5.15. NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

●発行責任者 川岸卓哉

## ■7/1「第4回 総会」のご案内

会員のみなさまのご支援・ご協力により、NPO法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所の活動が5年目を迎えることが出来ました。この一年、「原発ゼロ」「再エネ普及」を掲げ、精力的に活動を行ってきました。

**事業面**では、横浜勤労者福祉協会の協力を得て、2017年11月にうしおだ診療所屋上に3号機の建設が完了、2018年2月に通電式を行いました。3号機のファイナンスは、公的機関である神奈川県及び政策金融公庫から信用付与を得ました。有志より寄贈をうけた太陽光パネルを活用し、引き続き4号機の建設の可能性を探ります。

**政策面**では、浜岡原発事故の神奈川への影響の研究成果を発表、神奈川県西部で開催された学習会では講師を務め、新たな脱原発運動が広がってきています。川崎市再生可能エネルギー市民条例案は、川崎地域エネルギー市民協議会をプラットフォームに、かながわ生き生き市民基金の寄付プロジェクトに採用されたのを機に精力的な活動が展開されています。おひさまフェス×星空上映会 in かわさきは3年連続開催に成功し、4年目を迎える今年は、マンネリに陥らず楽しく有意義なお祭り作りを目指して始動しています。

2018年度も、原発推進勢力に対し、川崎における「脱原発への希望の旗」となり続けるべく、みなさまと共に一歩ずつ歩みを進めていく所存です。ぜひ多くの会員のみなさまのご協力、ご支援を得て、次なる活動への原動力とする総会にしたいと考えています。

第4回総会への会員の皆さまのご参加、心よりお待ちしております。

理事長 川岸 卓哉

### 【第4回 通常総会】

日時 2018年7月1日(土) 13:30~14:30  
場所 多摩市民館 第1会議室 ※多摩区役所庁舎の4階  
住所：川崎市多摩区登戸 1775-1  
小田急線「向ヶ丘遊園駅」北口から徒歩6分



### 【総会記念講演&WS(仮)】

日時 2018年7月1日(土) 14:45~16:30  
場所 多摩市民館 第1会議室 ※多摩区役所庁舎の4階  
内容 川崎市で「再生可能エネルギー推進条例」を実現するためにはどうしたらよいのか？  
「大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例」の制定に関わった渡辺順子さん(大磯町議会議員)からお話をうかがい、何が出来るか考えます。  
参加費無料、会員ではない方もどうぞご参加ください。



## ■4/22「第6回協同地域健康まつり」に参加して

4月22日（日）、川崎医療生活協同組合主催の健康まつりが川崎協同病院・協同ふじさきクリニック近くの藤崎第4公園で行われました。

“地域まるごと健康づくり！”を合言葉に地域の方々と一緒に健康づくりを考える催しとして毎年開催されています。

私たち NPO 法人もここに初出店、おなじみ福島会津の大和川酒造「弥右衛門」の地酒4種10本を1杯300円で販売、パネル展示、福島会津電力視察ツアー案内などを行

いました。

開始1時間前の10:00に当NPO法人会員でもあるお祭り担当者の荒金さんにご挨拶。オープニングはご存知中野島の玉田さんがこの地域で昔から教えているという和太鼓サークル「笑鼓楽」（しょくら）の元気な演奏から始まりました。

当日の天気は快晴で気温もどんどん上昇、常温販売でしたが日本酒を飲むにはいかにも不向き。そこで1本売りも積極的に行い、加藤副理事長、三枝副理事長の強力販売員？の活躍で終了10分前から司会者も巻き込み1杯100円にして見事終了時間の14:00には完売しました。川崎医療生協の看護師でもある田中副理事長のやや強引な客引きでブース前が賑わい、福島ツアーへの強制参加勧誘などもあり、また隣が福島物産店のブースだったことから横断幕での共同戦線もあり、楽しい時間でした。

会場内無料健康チェックコーナーでは、血圧測定・体組成測定・足指力測定・握力測定・血管年齢や健康相談が行われていました。障害者支援ステーションから無料綿あめが提供されたり、パン食い競争など子どもも楽しめ、飲食中心の多数のブース出店、地元商店街協賛による抽選会も行われました。

当日のスケジュール配布数が600部とのことで、1000人は参加されたように思います。

発電所4号機がふじさきクリニックに出来れば今後にもつながると思います。

川崎医療生協組織部やメンバーの皆様には本当にお世話になりました。

事業検討チーム 永田 真一





## ■「条例制定プロジェクト」の経過報告

川崎地域エネルギー市民協議会（以下、「協議会」といいます。）の川崎市再生可能エネルギー促進条例制定プロジェクト（以下、「条例プロジェクト」）が、2017年11月から始動しました。この条例プロジェクトは、川崎市を省エネかつ再エネが積極的に導入される街とするために、市民が条例案を提案し、その条例の制定の実現を目指すものです。

条例プロジェクトでは、公益財団法人かながわ生き活き市民基金が実施する事業指定助成プログラム、「エラベル」の登録事業として、2017年12月から2018年3月にかけて、活動のための寄付を募りました。その結果、目標金額としていた60万円を大きく超える額の寄付をいただきました。寄付をしてくださった方々、また、条例プロジェクトの寄付を宣伝してくださったすべての皆様に、心から御礼申し上げます。頂戴した寄付金は、再エネ条例の制定に向けて活用させていただきます。

2018年4月からは、条例実現のための方針の検討と整理を改めて行ってきました。条例を実現することは容易なことではなく、しっかりと進むべき方向を定めて取り組んでいかなければ、良い結果を残すことは出来ないと考えたからです。その作業にあたって、条例制定に関する知見をお持ちである方々にもお話をうかがい、協議会の中で議論を重ねてきました。署名活動についても、もともとは4月から開始したいと考えておりましたが、署名をしっかりと意味のあるものにし、可能な限り多くの方にご署名をいただけるようにするべく、署名の位置づけや署名用紙の作成方法、署名の集め方などについても検討をしておりました。そのため、5月15日現在ではまだ署名活動を開始できておりませんが、今後必ず実施する考えです。

ここからは告知となりますが、条例プロジェクトの活動の一環として、6月から、映画「日本と再生」（ダイジェスト版）の上映と、再エネについて参加者で考えるワークショップを開催していく予定です。一人でも多くの方が、再エネについて知り、考える機会になればと思っています。詳しくは、ホームページ

(<https://kawasakisaiene.jimdo.com/>) や Facebook ページでお知らせします。ぜひご参加ください。

条例の制定を目指す、という活動は、私には経験がないことで、悩みや迷いも尽きません。しかし、ひとつひとつ学びながら、みんなで力を合わせて、着実に進んでいきたいと考えております。今後とも条例制定プロジェクトをよろしくお願いたします。

政策検討チーム 岩坂 康佑

**映画「日本と再生」を 楽習しよう!**

河合弘之監督 最新作  
**日本と再生**  
光と風のギガワット作戦

太陽がいっぱい。  
風がいつぱい。  
世界はもう、  
自然エネルギーで動いている!

福島第一原発事故から「原発に頼らない社会に変えていこう」と思っても、「原発をなくして、再生可能エネルギーで大丈夫?」という不安のある方も多くでしょう。  
一方、太陽光や風力などの恵みである再生可能エネルギーを活用して、経済や暮らしを豊かにする取り組みが世界中で広がっています。河合弘之監督「日本と再生——光と風のギガワット作戦」の映画(ダイジェスト版37分)はそのことを教えてくれます。エネルギーから、私達の街や暮らしの未来と一緒に楽習してみませんか。

**場所・日時** ※裏面に地図があります

6/29	金	10時~11時45分	麻生市民館視聴覚室
7/23	月	14時~16時	高津市民館視聴覚室
8/4	土	10時~11時45分	中原市民館視聴覚室
8/31	金	10時~11時45分	宮前市民館視聴覚室

**参加費**  
無料です。  
託児をご希望の方は、1週間前までにお子様の年齢と人数をお伝えください  
(直前の場合はお問い合わせください。なるべく対応します)

**上映後、感想など 語ってみませんか?**

**会場の別室で 無料託児します**  
託児経験豊富なボランティア活動団体「ナク川崎」担当

**上映会を開きたい方は ご連絡ください**  
(少人数可)

(主 催) 川崎地域エネルギー市民協議会 再エネ条例プロジェクト  
(連絡先) 〒211-0803 川崎市中地区小杉町1-403-5-404 (高嶺)  
☎(留守番) & FAX 044-722-6766  
kawasakisaiene@gmail.com

(後 援) 川崎市教育委員会 《託児協力》ナク川崎  
平成30年度かわさき市民公益活動助成金事業

QRコード

川崎かわさき 川崎に再生可能エネルギーを



## ■おひさまフェス×星空上映会 in かわさき 2018 に想いを込めて

震災から、そして福島第一原発事故から8年目となりました。

震災を受けて、当たり前前の日常が当たり前でないことを知りました。そして、不安な日々の中で私が感じたのは、人とのつながりの持つ力でした。自分自身一人ではできないことでも、それぞれの人が少しずつ力を出し合えば実現できる。そして、想いが形になるということです。

先日、避難解除された葛尾村を訪れました。福島第一原発事故の残した課題は一言で表せるものではなく、何よりも「自身で暮らす場所を決めることができる」といった当たり前のことが未だにままならない現実に直面すると、7年という時間がいったいどのような時間だったんだろうかと考えさせられました。そして、何度も耳にした「原発（事故）さえなければ」という言葉を前にして、この想いを知った者として伝え切れているだろうか、そんなことも考えました。

私自身の話を少しさせていただくと、第一原発事故後当時茨城から神奈川に「避難」をしました。地震が起き余震も続き今後どのような状況になるか分からない中、家族と離れるということは簡単に決断できるものではありませんでした。そして、より福島に近い地域に住んでいたため「避難」をしたものの、「帰りたい」と言い続ける祖父の姿は今まで見たことがないもので、人間が自分の意志に依らずに移動を迫られるということ、そして「日常」が突然変えられてしまうということの非情さを感じました。あの経験と原発事故後に出会った人たちの言葉が同じものではないものの、どこかで重なりあい、私の原点となっています。

### おひさまフェス×星空上映会 in かわさき 10月20日（土）開催決定！

今回4回目の開催となります。ゼロから無我夢中で形にした1年目、そして運営する側の「持続可能性」などの課題もあり、試行錯誤をしたのがこの2年間でした。

社会をすぐに変えることはできないかもしれないけれど、このおひさまフェス×星空上映会の会場が自分たちの目指す社会の実現の場になって、参加者の実際の生活の中に少しずつ広がっていけば、4回目となる今回は、このイベントの原点となるこの想いに立ち返り、楽しくもありつつ想いが届けられるようなイベントにして行きたいと思っています。

おひさまフェス×星空上映会 in かわさき 2018 実行委員長 小川 杏子

#### 【編集後記】

青葉が美しい季節となり、軽装で出かけられるのが嬉しいです。前号で募集した6/9～10「会津電力・土湯温泉視察旅行」は早々に満席となりました。通電式の講師・佐藤彌右衛門さんのお話を聞いて、会津電力を視察したくなった方も多いのかな。バスでゆったいと、福島の発電所&大自然を体感してこようと思います。（加藤伸子）

#### ■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189（川岸）

でん太通信は毎月15日に発行しています。

